

常任委員会報告

■総務企画委員会

総務企画委員会には、平成23年度一般会計補正予算、条例改正議案3件、平成22年度一般会計決算認定議案の5件について審査付託された。

●交通安全施設の管理

問 交通安全維持管理費で照明設備6基腐食しており、修繕することであるが、照明設備の維持管理をどのように行っているのか。また、通常設置して何年をめぐりに修繕されるのか。

●維持管理

理に含まれる修繕は、道路照明灯、道路反射鏡、注意喚起標識などの軽微な部分の修繕を行っている。何年で修理するところの管理メニュー



■道路反射鏡

ルはない。23年度は緊急雇用対策促進事業で、道路照明灯、道路反射鏡の台帳整備が入っており、一つひとつ確認しながら、すべての台帳整備を行っていく。

●防災専門官の採用

問 非常勤特別職は、採用試験なしで誰でも採用できるのか。また、職員の採用計画、行革も含めた人員管理計画への影響は。

答 非常勤特別職なので、地方公務員法の適用は受けないが職員となるので地方公務員法に準じた扱いとなる。

る。

職員の採用計画、人員管理計画は常勤の一般職員の計画。一般職は、計画に基づき減員している。特別職については事業に必要であれば必要に応じ採用していく。採用予定は1人。任期は1年、再任は妨げない。

●コミュニティバス運行

問 地域交通事業費の補助金が当初予算より増えた要因は。コミュニティバス運行の事業計画と現状との差は。

答 地域公共交通会議への、国庫補助金が当初予算より932万1千円減額となり、この分が町の補助金の増額となった。一方、コミュニティバスの運営運行決算が490万4452円の減額となり、その差額441万6千円ほどの町補助金の増額になった。

費用対効果の検証・見解

は、一般的には利用者の乗車が増えることで満足度があがると思われる。コミュニティバスが浸透するには3年ほどかかるといわれており、地道なPRが必要と考えている。

運行開始後9ヶ月の検証

として、ルート・バス停の位置などを検討しつつ利用者数調査をしながら、さらに検証をしていきたい。

●LPGガスの備蓄

問 地域防災費の燃料費で、役場防災倉庫に保管されている燃料の種類は。LPGガスは入っているのか。

答 地域防災費の燃料費の中に、ガソリン代が入っている。LPGについては、防災訓練で予算執行している。防災倉庫については、携行缶としてガソリンを備蓄している。LPGは備蓄していない。

LPGの備蓄については、



■半田消防署武豊支署

色々協定を結んでおり、災害救助に必要な物資の協定もしている。もし、被災があつた場合、協定先から拠出していただくことになっており、備蓄は考えていない。

■文教厚生委員会

文教厚生委員会には、平成23年度一般会計補正予算など補正予算2件、条例改正、廃止案件2件、平成22年度決算認定議案5件、請願1件の10件について審査付託された。

●省資源化を考慮

問 富貴小学校体育館耐震改築工事について、大幅な工期の前倒しと太陽光発電の設備導入という大きな変更ができた。今回の変更の背景は。

答 工期の前倒しについては、富貴小学校の児童が体育館を利用できない期間を最小限にとどめたいということ。また、工事の内容については、東日本大震災の影響により、節電対策が行政の取り組みとして必要不可欠と判断したので、急遽、太陽光発電の設置を計画した。

問 太陽光発電が導入されるのであれば、照明灯についても環境に十分配慮されているのか。

答 通常の照明器具よりも高効率型の照明器具、H F 照明器具、セラメタルハライドの採用を予定している。これにより、照明器具設置数及びランプ交換数削減など省エネルギー、省資源化を考慮している。

●救急医療システム

問 救急医療システムが運用され、緊急時の治療も問

題なく処置されていると思うが、平成22年度で最寄の医療機関に受け入れてもらえず、遠くの医療機関に搬送されたことはないか。

答 搬送先については、まず、かかりつけの医療機関、患者もしくは家族の希望する医療機関、次に救急隊の判断で医療機関を決めており、管内の医療機関で対応できている。かかりつけを持たない方は救急救命センター、周産期母子医療センター、24時間体制の半田市立半田病院に搬送。ちなみに半田消防署武豊支署では最寄の医療機関に受け入れてもらえず、遠くの医療機関に搬送された例はないとのこと。ただし脳卒中、心筋梗塞、頭部損傷など重篤な場合医療圏外に搬送した例はあるとのこと。

問 救急隊と医療システムが連絡を密にできるような体制があるのか、症状を医療機関に伝え、かつ医療機関から迅速に救急隊に指示が届く仕組みか。

答 そのとおり。自分の症状に応じた診療可能な医療機関の情報を手に入れられ

るようなシステムが、愛知県救急医療情報システム。

●福祉医療給付金の認定

問 福祉医療給付金の支給状況について、人数、金額ともに大幅に減っている。その要因は。

答 施設入所者の中で、身体障がいの方または寝たきりの方は、認定の取り扱いを変えた。また、施設入所の方と町内のひとり暮らしの方についても更新があつたので、その中で扶養に入っていない、支援を受けていないという書類の精査をし、人数が大幅に減った。実際には、ひとり暮らしの方の認定に当たっては、本

当にひとり暮らしという方はどのような方が、実際に生活介助を受けていない方という想定があるので、町内に一人で、近所に親族もみえず、生活の援助も受けていない方という形で判定をした。

産業建設委員会

平成23年度一般会計補正予算、工事請負契約2件、平成22年度決算認定議案4件の7件について審査付託された。



■前田の交差点からJR踏切

方の認定に当たっては、本

当にひとり暮らしという方

はどのような方が、実際に

生活介助を受けていない方

という想定があるので、町

内に一人で、近所に親族も

みえず、生活の援助も受け

ていない方という形で判定

をした。

●工事区間の分割発注

問 鉄道下を横断すること細かい条件が入っているという事情はわかるが、指名業者が2社では、競争性が損なわれる。他に幅広業者の選択を。

答 今回の工事は、JRを横断するという点で、特別な事情がある。JRから工事の条件について文書でいただいており、この方法でなければJRの同意がもらえない。

問 工事区間が148mと

いうことだが、踏切につながる前田の交差点から通常の雨水管布設の所については、工区を分けて二つの入札にできなかったのか。

答 今回の工事は工事区間が148mで踏切部分とそれ以外部分を2分割なり3分割すると、工費が約15%ほどアップする。今回の工事は国の交付金を受けて行う工事であつて、施工条件などが技術的に特別な理由がないかぎり分割することができない。もちろん工事が終わったあとに会計検査院の検査があるので、設計の根拠などの検証をされ

る。会計検査のときに対応できなくなるので、基本的に分割できなかった。

●松くい虫防除

問 吉町田湿地と自然公園の松くい虫防除で管理されている本数に対して、伐採された松は何本か。また、防除している松が枯れる原因は何か。

答 平成22年度管理対象松は、吉町田湿地で407本、自然公園で421本。また、伐採した枯れ松は吉町田湿地で15本、自然公園で11本。防除している松が枯れる原因は、マツノザイセンチュウ

ウが松の幹にある仮道管に多く繁殖し、薬剤注入効果が十分に発揮されなかったものと推察される。また、松くい虫以外にも環境の変化により樹勢が弱まって枯れることもある。

●野外活動センター

問 名古屋市野外活動センターへの緑地保全協力200万円。8年目で1億6千万円。かなり高額である。町が単独で購入し、管理するのにかかる費用は500万円か。

答 町が取得し、今までと同じサービスを提供し、維持していくには、4千数百万円のランニングコストが毎年必要になってくる。2000万円の根拠については、交渉により年間維持費の2分の1以内、かつ2000万円を上限としている。

利用者は、21年のデータによると、町民28・8%、名古屋市民29・6%、その他41・6%になっている。



■松くい虫防除

審議されたその他の議案

●同意第3号

教育委員会委員の任命

岩田 花子 氏

▼全会一致同意

●議案第42号

町税条例等の一部改正

▼賛成多数可決

賛成15 反対2

決算認定

●認定第2号

国民健康保険事業特別会計

▼全会一致可決

下水道事業特別会計

▼全会一致可決

●諮問第3号

人権擁護委員候補者の推薦

山田 幾代 氏

▼全会一致推薦

●議案第43号

都市計画税条例の一部改正

▼全会一致可決

●議案第44号

災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

▼全会一致可決



●認定第3号

老人保健事業特別会計

▼全会一致可決



●認定第4号

後期高齢者医療特別会計

▼賛成多数可決

賛成15 反対2

9月定例会では、意見書7件が審議されました。

◆意見書第2号

定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫制度拡充を求める意見書

▼全会一致可決

◆意見書第5号

原発から速やかに撤退し、再生可能エネルギーの開発と普及を求める意見書

▼賛成少数否決

賛成3 反対14

◆意見書第8号

特別養護老人ホームの早期の建設促進を愛知県に求める意見書

▼賛成少数否決

賛成2 反対15

●議案第40号

国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

▼全会一致可決

●議案第47号

工事請負契約の締結

「公共下水道雨水管渠布設工事」

▼全会一致可決

●認定第6号

農業集落排水事業特別会計

▼全会一致可決



●認定第8号

水道事業会計

▼全会一致可決

請願

9月定例会で文教厚生委員会に付託された「精神保健福祉施策の充実を求める請願」を賛成多数で採択しました。

賛成12 反対5



■請願事項
武豊町の精神障害者は、精神科以外の一般医療費の治療費は、健常者と同額の3割負担になっています。他の2障害と同様に無料にしてください。

◆意見書第7号

東日本大震災被災者の生活再建の大障害になる消費税増税に反対する意見書

▼賛成少数否決

賛成3 反対14

